



つぼみ組さんたちの一日は、ホールでの自由あそびの後は、ホールでの体操からはじまります。幼稚園に入ってはじめての体験も板に付いて来ましたよ。表情から分かるのは、どの子も楽しんでいると言事です。さて、このつぼみさんたちの成長も着々と工事が進みスタッフたちワクワクしています。良い刺激となる環境になるでしょう♡

■ 指示待ち症候と言いか、ママがあまりにも全てやってあげているのかな...と思われる子がつぼみ組は勿論年少組にもあります。まずはきくつ下をに入れてあげて、手洗い場で両手の平に洗剤を乗せても、くつ下を履こうとせず、手をゴシゴシはうとせず、そのままのおともだちが結構あります。何をしたら分からないので、しょう。経験させ、自分で出来る事を増やしてあげましょう。



■ 6月12日(火) 年長組は社会見学として、大倉山ジャンプ台へ行き、徒歩で右側にある登山道を登り、展望台まで行きます。

観光のオマケは、左側のリフトですが帰路も徒歩です。展望台から見下ろす街並に歓声をあげるでしょう。大通り公園TV塔、100年記念塔、そして、札幌ドームはどこかな!!

■ 6月14日(木) おひび先生 こどもクリニックによる内科検診の日です。全園児が対象ですが、つぼみ組は次年度からです。

■ 親子遠足における園児たちとスタッフたちのオマケ交換は無いですので、ご留意ください。

## 心の育ちシリーズ

# 100人居れば 100の個性!!

こどもたちを観ていると沢山の発見があります。その中からひとつを紹介します。すぐには顔と名前を覚える子がいる。特徴ある子で、元気な子! かんぱく! おてんば! 乱ぼん子! 泣き虫! くする子! などです。しかし、泣きませず話しは聞いているが、目立たない子も沢山います。

こぼ子は教師の手を煩わす事があまり無いので、年若い私にとっては名前を覚えるのに苦労の毎日だ。

最初から大泣きの子! こどもたちは地を出してくれているので慣れて来たは大変身する。でも最初の内に耐えて、ある日突然泣き出して、ママも教師もビックリさせる子も居る賑やかな1学期です。

こども100人居れば100の個性ありと良く言ったものです。一人ひとりの性格と、これ迄の育ちや家庭環境も違うこどもたちが、同じ屋根の下での集団生活を送るので、ふつかり合いは当然ですね。おめ事、けんか、意地悪など日常茶飯事です。この経験をするか否かで、これからの育ちに大きな影響があるので、心して欲しい。

こどもたちのトラブルが園内で治まれば、こどもたちの育ちの薬になるが、これが親が割って入ってくると決して薬にはならず、むしろ毒薬にもなりうる。

こどもは利口です。親の前では決して自分が不利になる事は言いませんよ!